

## 1 木部地区の概要

木部地区は太鼓谷稲成神社や殿町通りなどを有する旧津和野町から約 15km 離れた山間の集落であり、水田と森林のコントラストが映える自然豊かな地域である。

年々人口が減少し、現在 574 名 (H30.12 月現在)、高齢化率 54%の限界集落となっており、保育園と小学校はあるものの、子どもの人数は 50 人に満たない、まさに少子高齢化の地域である。

## 2 事業の趣旨

地域の人口減少、高齢化に少子化、休耕地の活用など地区内に様々な地域課題が積み重なっている。しかし、課題に対する危機意識や解決に向けた当事者意識の希薄さから、足踏み状態が続いていた。

そこへ、小学校 5、6 年生の総合的な学習の時間において、木部の空き家が多いという現状について知り、空き家を増やさないためにどうすればいいかを考え、一人暮らしの方との交流会（サロン）を計画し実施。小学生の課題に対する危機意識の高さが地域住民への起爆剤となればと考え、子どもたちの想いや意見を中心に据え、地域のひとが関わっていける、つながりをつくっていける活動を行う。「木部魅力化計画」としてまずはふるさと木部の魅力を再認識してもらい、住民の地域課題に向けた当事者意識を高め、地域への関わりをさらに深め、広がっていくことを目指す。

## 3 具体的な取組内容

### (1) 子どもを対象にしたタブレット写真講座 in 通学合宿

毎年行っている通学合宿において、参加した子どもたちを対象にタブレット講習会を開催。芸術士®を講師に、タブレットの使い方だけでなく、写真撮影やインタビュー時の撮影のポイントなどを学ぶ。参加した大人へ木部に対する想いを引き出すインタビューをしながら撮影会及び振り返りを行う。



### (2) 巨大マップ展示

文化祭において、地区内の空き家が記された巨大マップを展示。以前調査した結果に加え、新たな空き家にシールを貼ってもらい、地域課題への意識を高めることをねらう。

### (3) みんなの笑顔はじける

思い出作ろうイレブンイベント

小学校 5、6 年生が、地域内へ出向き 4 か所の集会所を回って、地域の方に笑顔と

元気を届けようという企画。公民館からは自治会への協力を求め、参加者としてだけでなく参画者としての当事者意識を高めることをねらいとする。

#### (4) 健康料理教室、ロコモ度チェックの実施

立ち上がり BOX、ステップテスト用マットを使ってロコモ度チェックを、健康料理教室と一緒にやる。立ち上がり BOX



は、地域の達人に製作してもらったりなど、地域住民の関わりしるを設け、多くの人を巻き込めるようにする。

#### (5) IT サロン

タブレットやスマートフォン、パソコンなど IT 機器の使い方や、講習を受け、交流をしながら知識を高めていく。独自のネットワーク、つながりや、新たなことへの挑戦など、主体的、自発的な行動につながる意欲を高める。



#### 4 評価と成果

もともと木部地域は、小学校と公民館と地域のつながりが強く、地域行事、学校行事ともよく出来ていたが、今回の事業で地域と学校のつながりがより強くなったように思う。



小学校主催のイベントでは、地域へ子どもたちが出向いたことで、参加者が大幅にアップし、前年度 13 名の参加であったのに対し、今年度は 50 名の参加となった。男性の参加も目立った。

また、子どもたちが地域の事業に積極的に関わってくれるようになり、2 月に地域で行われたイベントでは子どもたちが準備から片付けまでを手伝うなど、活躍をしてくれた。

#### 5 今後の課題と見通し

未だ空き家や、地域課題への関心、当事者意識が希薄に感じられる。住民主体となる自発的な発想や、思いを共有する場、人的ネットワークや、ソーシャルネットワーキングなどを組み合わせ、より独自の木部ネットワークを構築していくことができればと思っている。また、中・高生の関わりという点において、IT などを使っての交流や、企画参画をやっていききたいと思っている。

(文責：主事 石橋三智子)